

春陽会会報 (昭和 33 年 7 月 18 日)

(44)

暑中お見舞申上げます。

○第四回会務委員会を七月十六日、青山学院交友会館で開き、会計報告、事業部の貸し絵に関する件、会友に関する件、会費値上げの件等決議されましたが、その中急を要する新人展に関する件をとりあえずお知らせします。(出席者…南大路一、水谷清、横堀角次郎、遠藤典太、中谷泰、岡鹿之助、倉田三郎、三雲祥之助、伊藤慶之助、藤井令太郎、駒井哲郎、高田力蔵、伊川鷹治、木本晴三)

○第三十五回展の記念事業として四月二十六日会員総会で承認を得ました春陽会選抜新人展(仮称)の件を具体的に進展させていきたいと思いません。

尚、この展覧会の企画の意義及び前後の事情が会員諸氏に徹底されていなかった憾み(うらみ)もありますので、ここに簡単に説明し、同封はがきの項目について至急御返事をお願いします。

かねて委員会に於て秋季会員展を中止いたしましたより、何か之に代るものをご考えておりましたところ、昨年度第九回委員会に於て、新人展を催したら会員展に代わる意義もあるものであり、これを三十五周年の記念事業とし毎年開催(選抜される作家は改めて毎年選抜される)、春陽会の新人を社会に会が押し出していこうと云う考えであります。評論

家、報道関係方面の新人展と称するものも多くありますが、之等に関わりなく会独自の性格を出した意義ある新人選抜展にしたいと思えます。

○選抜方法は、同封はがきに本年度第三十五回展の作品を基準として、年齢、会員・準会員・一般出品者の区別なく、作品本位で三名を選び、七月三十日迄必着する様事務所へ御返事下さい。

又之は多数決によるものではなく、諸氏の回答を重要な参考意見として次回委員会に於て、出品を依頼する作家を五、六名にしぼり、一人十点位(旧作の代表作も含む)の作品を出して貰います。但し出品作家の対象は春陽会絵画部、版画部に限ります。

尚、出品作家の人选は会務委員会に於て決定します。

会場は秋季展でおなじみの高島屋に話を進めており、このたび来年の二月頃と大体の決定を見ました。本来ならば今秋開催するのが当然なのですが、高島屋の都合上、来春二月頃となりました。決定次第お知らせ致します。

○右以外の当日の決議事項は目下整理中ですが、次回お知らせする手筈にしています。

昭和三十三年七月十八日

春陽会